

中学校区を単位とした小中一貫教育の推進について

(平成22年度の小中一貫教育の取組について)

小中一貫教育に関する校長会議(4/30)、教頭会議(5/7)、小中一貫教育コーディネーター会議(5/14)において、小中一貫教育の推進について指示しました。

1 指示事項(要旨)

- ・本年度より、「小中一貫教育非常勤講師」の配置を拡充し、全中学校区において小中一貫教育チーフコーディネーターを専任できるようにするとともに、小中学校教員の連携による指導が行える体制を整えた。これらの教員を有効に活用し、全ての中学校区で実践的な研究を進めること。
- ・平成24年度の小中一貫教育全面実施に向けた準備を遺漏なく進めること。
- ・校長のリーダーシップにより、具体的な動きを起こし成果が見られるような取組を進めること。

2 宇治市における小中一貫教育の展開について

小中一貫リーフレット「宇治市における小中一貫教育の展開」について説明

3 平成22年度の課題と方針について

到達目標の設定と、到達目標を達成するための方策について指示

◇平成22年度小中一貫教育「実践的研究」の到達目標

- (1) 中学校区を単位とした教育目標やめざす子ども像などを設定できた。
- (2) 中学校区を単位とした小中一貫教育を推進する組織が整った。
- (3) チーフコーディネーターを小中一貫教育に係る企画、立案及び関係校の調整、広報、地域連携等の業務に有効に活用できた。
- (4) 中学校区を単位とした小中一貫教育の取組計画をたて、試行できた。
- (5) 教科連携教員を小・中学校間の指導をなめらかに接続させるため、計画的に活用できた。
- (6) 小学校高学年で、教科担当制による指導の試行ができた。
- (7) 中学校区を単位として、いしずえ学習、宇治学の実施計画をたて、試行できた。
- (8) 小中一貫教育の実践的研究について保護者や地域に向けて情報発信できた。

◇平成22年度の到達目標を達成するために

- (1) 「平成22年度〇〇中学校区を単位としたジョイントプラン(小中一貫教育推進計画)」の作成
 - ① 小中一貫教育研究の進捗状況を分析する。
 - ② 平成22年度の取組課題をまとめる。
 - ③ 平成22年度の具体的な取組計画を立てる。
 - ④ 小中一貫教育を推進する組織を整える。
- (2) 「平成22年度〇〇中学校区を単位としたジョイントプラン」の試行
- (3) 中学校区を単位としたコーディネーター会議等でプラン試行の進行管理
- (4) 「平成22年度〇〇中学校区を単位としたジョイントプラン」の検証・改善

平成22年6月21日

宇治市小中一貫教育推進協議会資料

宇治市教育委員会小中一貫教育課